

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)

【公開番号】特開 2011-118132 (P2011-118132A)

【公開日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2011-024

【出願番号】特願 2009-275034 (P2009-275034)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 5 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 5 日 (2012.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 現像剤供給部材から供給される現像剤を静電潜像担持体上に供給する現像剤担持体を備える現像装置であって、

(b) 前記現像剤供給部材は、抵抗値 $1.9 \times 10^4 \sim 7.6 \times 10^7$ [] の電気抵抗を有するフォーム部材を有することを特徴とする現像装置。

【請求項 2】

(a) 現像剤供給部材から供給される現像剤を静電潜像担持体上に供給する現像剤担持体を備える現像装置であって、

(b) 前記現像剤供給部材は、抵抗値 $1.2 \times 10^4 \sim 7.6 \times 10^7$ [] の電気抵抗を有するフォーム部材を有することを特徴とする現像装置。

【請求項 3】

前記現像剤担持体は、その表面と 1 [mm] の間隔をもって配置されたコロナ放電器に 5 [kV] の電圧を印加してコロナ放電を発生させて前記表面を帯電させた場合、0.1 秒後の電位が 1 ~ 36 [V] である請求項 1 又は 2 に記載の現像装置。

【請求項 4】

前記現像剤供給部材は、抵抗値 $1.9 \times 10^4 \sim 8.8 \times 10^7$ [] の電気抵抗を有するフォーム部材を有する請求項 2 に記載の現像装置。

【請求項 5】

前記フォーム部材は連続気泡のウレタン発泡フォームから成り、

該ウレタン発泡フォームは、イオン導電による $9.6 \times 10^9 \sim 1.02 \times 10^{12}$ [・cm] の電気抵抗率を有し、各気泡壁面にカーボンブラックを固着させて電気抵抗の抵抗値を $1.04 \times 10^4 \sim 7.6 \times 10^7$ [] としたものである請求項 1 又は 2 に記載の現像装置。

【請求項 6】

前記フォーム部材は連続気泡のウレタン発泡フォームから成り、

該ウレタン発泡フォームは、電子導電による $1.16 \times 10^9 \sim 8.51 \times 10^{11}$ [・cm] の電気抵抗率を有し、各気泡壁面にカーボンブラックを固着させて電気抵抗の抵抗値を $1.9 \times 10^4 \sim 8.8 \times 10^7$ [] としたものである請求項 1 又は 2 に記載の現像装置。

【請求項 7】

前記現像剤担持体は、軸体の外周面に形成された弾性層と、該弾性層の外周面に形成された複数の層とを有し、 100 [V] 印加時の電気抵抗の抵抗値が $4.35 \times 10^6 \sim 4.32 \times 10^8$ [] である請求項 5 又は 6 に記載の現像装置。

【請求項 8】

(a) 現像剤供給部材から供給される現像剤を静電潜像担持体上に供給する現像剤担持体を備え、

(b) 前記現像剤供給部材は、抵抗値 $1.9 \times 10^4 \sim 7.6 \times 10^7$ [] の電気抵抗を有するフォーム部材を有することを特徴とする画像形成装置。